

卓 話： 「地域情報化について」—三条市のインターネット導入と今後の活用について—

三条市役所総務部企画課 清野敏郎様

1、インターネットとは

- ・インターネット

世界中のコンピュータ同士をつなぐネットワーク。

- ・マルチメディア
- ・パソコン通信

2、地域情報化への対応

- ・情報化社会

情報化:メディアの役割の増大、もの自体より情報の持つ意味が高まる。

- ・「なぜ、今」（地域情報の発信と地域連携の時代）

○地方分権:地域の活性化と同時に総体の日本列島の活性化

○ネットワーク:地域がそれぞれに活性化をめざしている。地域と地域の交流

○地域間の競全:地域の個性化と他地域との差異化、活域価値の創造

外からの理解と共感を得られ、地域の自信に結びつく

3、三条市のホームページ

サーバー導入とアドレス

- ・URL

<http://www.city.sanjo.niigata.jp/>

○カナダ・バーン市のホームページ

<http://www.city.Vaughan.on.co/>

○新潟県のホームページ

<http://www.pref.niigata.jp/>

[地域情報の発信]

○地域活性化センター「ふるさと情報プラザ」

<http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp/>

○新潟県の情報コーナー「にいがたナビゲット」

<http://navi.pref.niigata.jp/>

[地域間交流の例]

○MONOまちづくり <http://www.innet.or.jp/~kaikoku/>

[多様なジャンル]

[検索]

○YAHOO! <http://www.yahoo.com/>

○Excite city.net <http://www.city.net/>

4、今後の活用

- 都市住民のニーズ:食品情報、観光情報、U J I ターン情報、空き家情報、ふるさとオーナー制など
- NTTのOCN
- 庁内ラン:イントラネット=情報の共有、情報公開
- メーリングリスト (電子メール)
- 双方向性のコミュニケーションツール
- 時間や場所の制限がない。24時間対応可能
- 施設や設備、最新の機器の導入「箱と使われない機械」にならないよう
○地域の企業や教育機関等との連携

5、まとめ

- 情報機器をある程度作りこなせる必要。
ただし、最近の情報機器はユーザーフレンドリーになっているので、最小限の情報リテラシー (読み書き能力) があればよい
- 情報に対するアクティブさ。
情報洪水の中で、必要な情報を見極め、求める。
- 情報発信能力を高める。
一人ひとりの意識と能力が求められる。

「インターネットって、本当に便利!？」三市南蒲地域視聴覚教育協議会 八巻 誠様

病気になるって

テレビはいい。人間、必ずしも働きかけて得る情報ばかりがほしい訳じゃない。受け身のありがたさもある。

インターネットで得られる情報のうそ

○公開されている情報のみが見られるのである。都合の悪いことは、公開しない。つまり、必ずしも真実は見えない。また、ほしい情報が、必ず得られるとは限らない。

○誰もが、情報の発信者となりうる。ネット上で、架空の巨大店舗をもつことも夢じゃない。

とは言っても、あるぞ。インターネットの可能性

○ほしい情報が、ほしい時に得られること。

これから大切なことは、その情報の中身を覚えることではなく、どのようにすればそれが得られるかがわかる、ということである。

◇NTT DIRECTORY等 (検索サーバー)